

はじめに

環境問題をめぐる世界的な動向を受け、国においては、資源や人材を地域内で循環させて、それぞれの地域同士でも融通させながら、社会を持続可能なかたちで形成する「地域循環共生圏」の創造に向けて「環境」「経済」「社会」の統合的な向上を目指しています。これは、持続可能でよりよい社会を実現するためのSDGsの目標達成に密接に関連しています。

こうした中、市では、令和3年3月に恵み豊かな環境を維持・保全するとともに地域特性、地域資源を活かし、船橋らしさが感じられ環境・経済・社会の統合的向上の視点を持った「第3次船橋市環境基本計画」を策定し、基本施策毎に貢献するSDGsの目標を示し、市民の皆様や事業者の皆様にご協力をお願いする取組・行動等をまとめました。あわせて、2050年ゼロカーボンに挑戦することを長期目標とする「船橋市地球温暖化対策実行計画」を策定するとともに、計画期間が令和8年度末である現行の「生物多様性ふなばし戦略」についても現在、中間評価・見直しを行っています。

最近では、環境負荷を可能な限り低減した新南部清掃工場（ふなばしさぎプラ）を令和2年4月に稼働したほか、河川や海の水質向上を目指し、単独処理浄化槽などから高度処理型合併処理浄化槽への転換を進め、さらには海洋プラスチックごみ対策の一環として令和2年度から日本大学生産工学部との共同調査を実施するなど、市として将来を見据えた取組を着実に進めてきました。

次世代を担う子供たちに健全で恵み豊かな環境を引き継いでいくためには、市民・事業者・行政が一体となって、地球温暖化対策や生物多様性の保全などの課題に取り組むことが重要です。

今後も引き続き環境の保全及びより良い環境再生・創出を行うため、本市が目指す環境像である「みんなでつくる 恵み豊かで持続可能な都市 ふなばし」の実現に向けて、さまざまな施策を推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本書は、令和2年度における本市の環境状況や環境保全の施策及び船橋市環境基本計画の進捗状況を掲載しています。皆様に広く活用され、環境への関心をより一層深めていただければ幸いです。

令和4年1月

船橋市長 松戸 徹